

④2 城野駅北土地区画整理事業におけるゼロ・カーボンと タウンマネジメントの取り組み

受賞機関 北九州市、独立行政法人 都市再生機構

全建賞審査委員会の評価ポイント

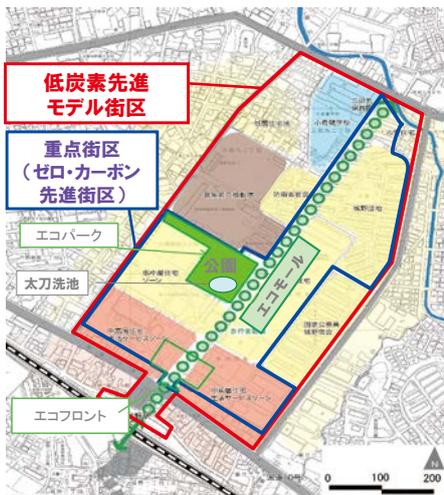
エコ住宅や公共交通利用促進などによる「ゼロ・カーボン先進街区」を目指す土地区画整理事業。公共交通結節機能の強化や子育て支援・高齢者対応の施設の誘導等の基盤整備におけるゼロ・カーボンの取り組みや環境配慮方針を詳細に定めた地区計画の決定、基本計画の策定等のまちづくりの誘導によりゼロ・カーボンの取組みを行っていること、また、住民等が主体的に持続可能なまちづくりに取り組むTMO活動の拠点施設を土地区画整理事業で整備していることも評価。

1. はじめに

当地区は、「北九州環境未来都市」のリーディングプロジェクトとして、その恵まれた地区特性を活かし、暮らしに関する二酸化炭素排出量の大幅な削減と、子どもから高齢者まで多様な世代が暮らしやすく将来にわたって住み続けられる持続可能なまちづくりが位置付けられている。

2. 事業の概要

本事業では、エコ住宅や創エネ・省エネ設備の設置誘導、エネルギーマネジメントによるエネルギー利用の最適化、公共交通の利用促進など、様々な低炭素技術や方策を総合的に取り入れ、ゼロ・カーボンを目指した先進的な整備を行うとともに、関連事業者との連携を図り、医療・福祉、子育て支援や高齢者対応に配慮したまちづくりを推進した。



城野ゼロ・カーボン先進街区の位置

また、次世代へ継承し続ける持続可能なまちづくりに取り組むため、住民・事業者等によりタウンマネジメント組織である「一般社団法人 城野ひとまちネット (TMO)」を設立し、関係者と行政が一体となってタウンマネジメントの取組みを実施している。

3. 事業の成果

まちの背骨となる自転車歩行者道として南北遊歩道や、JR城野駅舎の橋上化、自由通路等の整備により、公共交通結節機能の強化を図るとともに、当地区のまちづくりのコンセプトである「ゼロ・カーボン」、「子育て支援・高齢者対応」、「持続可能なまち」を推進するため、地区計画の他に基本指針として、「城野ゼロ・カーボン先進街区まちづくりガイドライン」を定め、先進的・持続的なまちづくりを誘導する水準を示し、多様な主体によるまちづくりの一体性を確保した。

TMOでは、タウンマネジメントの核となる「グリーンマネジメント」、「エネルギーマネジメント」、「タウンセキュリティ」の推進に向け、活動の拠点施設として集会所施設を土地区画整理事業で整備した。

4. おわりに

JR城野駅、国道10号に近接した、“まちの顔”となるエリアには、北九州医療圏における救命救急医療の中核である北九州総合病院や、診療所、カフェ、生活利便施設、子育て支援施設が入居する「メディアプラ城野」が自由通路で結ばれ立地した。住宅街区では、まちづくりガイドラインに沿ったエコ住宅の建設やエネルギー最適化システムの導入とともに入居が進んでいる。



TMO 活動の拠点施設 (TETTE)

また、「城野くらしの製作所TETTE (テッテ)」と命名されたTMO拠点施設では、地域コミュニティ醸成のため、住民の関心でつながるコミュニティを「くらしラボ」として、テーマ別に様々なラボ (研究室) を構成し、外部専門家のサポートを受けながら活動が始まっている。